



しばた議会だより



いよいよ リオ五輪 柔道女子日本代表 南條充寿 監督

- 6月会議
「教育関連・地方創生推進交付金など増額補正」 2～3
- ここが聞きたい 15人議員が一般質問 4～12
- 定例会出席・表決状況一覧 12
- 常任委員会レポート 13
- 議会懇談会を開催しました 14～17
- 追跡あれはどうなった「しばた千桜橋の検証」 18～19
- あなたの一言(伊勢 祐介さん) 20

交付金 1億788万円増額補正

商店街元気アップ事業など

6月会議は、6月6日から9日まで、開催されました。報告としては、専決処分した工事請負変更契約や平成27年度各種会計繰越計算書など15件の報告がありました。平成27年度各種会計繰越計算書など15件の報告がありました。議案としては、財産の取得、平成28年度一般会計補正予算、条例改正などの5件があり、審議した結果、原案のとおり可決しました。一般質問は15人の議員が行い、項目は26件でした。

保育料負担軽減

質疑 子ども子育て支援システム改修業務委託料の内容は。
答弁 保育料は、28年4月から多子世帯の年齢制限を撤廃することになった。それに伴い、第2子半額、第3子以降無償となった。また、ひとり親世帯の保育料も第1子は半額、第2子以降は無償になった。それに合わせたシステム改修費である。所得制限があり年収約360万円未満の世帯が対象になる。

未設置は3校

質疑 緊急地震速報受信機の設置校は。
答弁 東船岡小学校と西住小中学校に設置する。未設置校は3校で、来年も事業を進める。

太陽の村旧館改修に1千500万円

質疑 太陽の村の旧館改修に1千500万円計上しているが、どのような改修を行うのか。
答弁 研修合宿に特化して誘客を図る形で改修し、長寿命化を図る。旧館の離れは快適に過ごせるよう洋室化し、シャワー、洗濯機を設置する。

第1区と第17A区対象

質疑 宝くじコミュニティ助成事業の内容と対象区は。
答弁 地区における備品などの整備を行うもの。対象区は第1区と第17A区である。備品の内容は、エアコン、テレビ、いす、テーブルなどである。

補正予算の主な事業と予算額

事業名	予算額
地域未来塾学習支援事業 ICT 機器・緊急地震速報受信機	2,933 万円
太陽の村旧館改修工事	1,500 万円
にぎわい創出推進事業	2,060 万円
コミュニティ助成事業	460 万円
子どもの貧困対策整備計画策定基礎調査委託料	145 万円
地域資源を活用した小さな拠点整備事業	1,350 万円
図書館臨時職員の賃金	104 万円
農商工連携による商店街元気アップ事業補助	480 万円

大いに利用してね
柴田町図書館槻木分室



平成28年度
6月議会

教育関連・地方創生推進

小中学校にタブレットPC、ICT機器購入

小中学校にICT機器購入

質疑 地域未来塾学習支援事業の購入内容と数は。

答弁 全学校同一の内容で配置する。内容は、タブレットPCを10台、デジタル百科事典の1ライセンス、プロジェクター1台、プリンター1台、電子黒板ユニット1台、実物投影機1台、無線アクセスポイント1台である。

商店街元気アップ事業とは

質疑 農工商連携による商店街元気アップ事業内容と効果は。

答弁 事業内容は、ゼミの開催、うまいものグルメの紹介サイト開設、農家と連携しながら商店街で産直市を実施する。効果としては、町の知名度アップと交流によるにぎわいづくりを通し、新たな事業を起こして雇用の確保につなげていく。



みんなで学び、みんなで楽しむ（槻木放課後児童クラブ）

平成28年度補正予算（6月会議）

会計区分	補正額	補正後
一般会計	1億788万円	121億6,632万円
国民健康保険事業	183万円	47億2,207万円

意見書

★日本政府に核兵器全面禁止のための行動を求める意見書

意見書に対し一部削除を求めた動議が出された。

削除を求められた箇所

米国の核兵器による「拡大抑止」、いわゆる「核の傘」に依存した安全保障政策から脱却すること。

採決の結果、修正案は賛成少数により否決され、原案は賛成多数で可決した。

討論

原案賛成修正案反対

白内恵美子議員

修正の対象となっている「米国の核兵器による拡大抑止、核の傘に依存した安全保障政策から脱却すること。」の文言は、日本が進むべき道を示していきたいと思うので削除せずに原案通り入れるべきである。

原案反対修正案賛成

吉田 和夫議員

全ての人が核兵器の全面禁止を望んでおり、さまざまな団体がそれぞれの思いで行動している。アメリカの核兵器云々ではなく、核兵器はこの地球上から全てなくす。全世界に向かって、核のない世界をつくるべきである。

一般質問

ズバリ



あなたにかわって

ここが聞きたい

Q & A



一般質問は6月6日から8日までの3日間で行われ、15人の議員が質問しました。質問と答弁の内容について、その一部を掲載します。答弁者は、滝口町長、船迫教育長及び各担当課長等です。



舟山 彰 議員

Q 熊本地震を教訓に

A 被災者全員の避難は相当困難



築42年の役場庁舎

熊本地震の被災者の皆様にお見舞い申しあげます。やはり天災はいつ来るかわからない。我々は東日本大震災を経験したが、油断してはいけません。熊本地震を教訓にすべきである。

町長 熊本の自治体では事前仮設住宅の建設予定地を決めていなかった所が多く、着工の遅れの原因になっている。国は東日本大震災後、自治体に予定地の決定を促しているが、本町の準備はいかに。

町長 現在、総合運動場、旧トッコン跡地、農村環境改善センター脇、並松運動場、学校用地などを候補地と考えている。

町長 阪に熊本地震のような状況になったら、住民の避難所は十分に確保できるのか。(仮)総合体育館の所に防災公園を作る計画だが、万一の時はどう活用するのか。

町長 緊急避難として被災者全員を受け入れることは相当困難。計画中の防災公園は、一時避難場所、救援救護所、炊き出し施設などに活用。

町長 熊本地震では市や町の庁舎で使えないものがあった。柴田町役場は次に大きな地震が来たときは大丈夫か。

町長 耐震補強工事が必要。多額の改修費用が見込まれることから、今年度中に策定予定の公共施設等総合管理計画において、公共施設の全体状況を把握した上で、優先順位を考慮して対応する。



平間奈緒美 議員

Q 船岡小学校
大規模改造工事の
見通しは

A 学校が要望する箇所を
一般財源を使い実施する



快適な教育環境を（船岡小学校）

国の交付金がつかず、当初予定している事業ができなくなる、または縮小されるおそれがあると聞いている。計画している事業の執行状況を問う。

問 今年度に計画している事業の見通しは。

町長 主な事業は、船岡小学校など学校教育施設の改修工事、町道富沢16号線などの道路改良工事、町営住宅の改修工事を予定している。このうち、国の補助金や交付金を見込んで要望したが船

岡小学校大規模改造工事及び北船岡町営住宅駐車場整備工事が対象事業として認められなかった。そのため、当初計画通りに事業を進めることが困難な状況となった。今回、補助事業として対象とならなかつた事業については引き続き要望していく。

問 国の交付金がつかなかつた原因は。

教育総務課長 沿岸部に集中したのか、県からも回答が得られていない。28年度に県がエントリーした98

事業で採択されたのが38事業。今年度に採択されたのは昨年度からの継続事業6事業のみで、新規採用されたのは耐震関係などわずかだった。

問 少しでも船岡小学校に手をかけていくべきでは。

町長 学校が一番要望する箇所を、一般財源を使い、実施する方向でいる。具体的に何をするかは、学校と話し合う。



吉田和夫 議員

Q 今後の
観光戦略は

A インバウンド推進協議会を
核として、「しばたの桜」を
海外に発信する



外国人観光客に喜ばれたパンフレット「仙南の彩り」

問 桜まつりに訪れた外国人の反応は。

町長 桜まつりには、2千人を超える外国人観光客が訪れた。家族や少人数のグループ客が多く、特に電車などを利用して来町するタイからの観光客や、大型観光バスを利用した、台湾からの観光客が多かったことが特徴。

問 スロープカーの回数券をつくるべきでは。

町長 船岡城址公園では、桜まつりから始まり紫陽花まつり、曼珠沙華

まつり、みやぎ大菊花展そして冬のイルミネーションと1年を通してイベントが開催されるようになった。町観光物産協会と協議し発行していく。

問 仙南広域での観光戦略を至急立ち上げるべきでは。

町長 仙台空港の民営化を契機として、空港利用者やインバウンドの増加が期待されることから国内外の旅行者を仙南地域に取り込むため、仙南地域広域観光推進プラン

を作成する。

具体的には、仙南2市7町が連携した市の開催や、仙南周遊バスツアーなどを盛り込んでいきたい。

問 外国人の観光客を様々な方法で宿泊させることはできないか。

町長 外国人の宿泊を促すためにも、まずは外国人観光客数を大幅に増やすプロジェクトを優先させていきたい。



高藤義勝 議員

Q 個人番号カードの
交付遅れは

A 個人番号カードが届いた順に
作業をしている

問 27年中に個人番号
カードの交付申請を
したが、未だに交付通知
の来ない人がいる。どう
対応しているのか。

町民環境課長 国から、個人番号
カードが届いた時点
で順序よく作業をしてい
る。現在は27年12月中旬
ごろ申請した方に交付通
知をしている。照会が
あった時は、状況を説明
し、待っていただしてい
る。

問 仙台市などで休日交
付を始めたが、本町
でも考えるべきでは。

町民環境課長 平日に来られない人
のために、月に一度、
半日位の窓口を開設した
いと考えている。来庁者
が多い場合は増やしたい。

問 マイナンバーは法律
により、社会保障・
税・災害対策の行政手続
のみに利用が限定され
ているが、本町の活用方
法は。

町長 社会保障・税・災害
対策の申請時などで
の添付書類の削減など事
務処理に活用する。これ
以外の利用は、総務省が
3年後位をめどに検討を

進めており、それに基づ
いて活用の拡大を検討し
ていく。

問 昨年、国からの通知
カードの案内で、個
人番号カードによる印鑑
証明書・住民票の写しの
コンビニ交付をうたって
いたが、その後の対応は
住民の利便性が高い
と考えている。しか
し、システム構築に初期
の負担が大きく、すぐに
移行はできない。今後も
引き続き検討していく。

町民環境課長 住民の利便性が高い
と考えている。しか
し、システム構築に初期
の負担が大きく、すぐに
移行はできない。今後も
引き続き検討していく。

マイナンバー受付窓口 (町民環境課)



マイナンバー受付窓口 (町民環境課)

問 デマンドタクシーは
運行4年経過してい
る。問題点はあるか。

町長 町民の中に浸透して
いる。みやぎ県南中
核病院までの運行の要望
も昨年以來ない。

問 それは町民の諦めで
はないのか。私には
切実な要望が届いている。
村田町長は中核病院まで
の延長の協議申請をした。
大河原の協議会では1市
3町で話し合う結論だが。

町長 協議申請を行ったよ
うだが、民業圧迫と

いう理由で、タクシー会
社の了解が得られず不調
となった。

問 デマンドタクシーの
運行距離と日数、運
行時間を40分と仮定し、
タクシー運賃を計算する
と、町の補助金+運賃収
入と大差ない。ある程度
の人数を集められれば乗
合いタクシーとして中核
病院まで行けるが。

町長 この場では計算でき
ない。
問 中核病院までの運行
にはふれあいネット

ワークの利用や、過疎地
輸送の手段もあるが。

まちづくり政策課長 デマンドタクシーは
介添えの要らない人
のみ。過疎地運行につい
ては把握していない。

問 運行のシステム費は
大河原町に比して高
い。オープンで使える他
のシステム採用は経費を
安くするのに有効では。
まちづくり政策課長 他町のデータは見て
いない。システムは
町所有ではなく、商工会
の所有になっている。

Q デマンドタクシーで
中核病院までの
運行は可能か

A タクシー会社の経営を
圧迫するので難しい



秋本好則 議員



デマンドタクシーでは行けない、みやぎ県南中核病院



高橋たい子 議員

Q 生涯教育総合運動場の整備計画進捗状況は

A パークゴルフ場整備可能性調査を実施



整備が待たれる生涯教育総合運動場

問 生涯教育総合運動場（農村環境改善センター隣）の進捗状況は。

町長 27年度にパークゴルフ場整備が可能かどうかの調査を実施した。財政を見据えながら検討していく。

問 工事現場の資材置き場になっている場所を、どうする計画になっているか。

スポーツ振興課長 パークゴルフ場設置可能性調査で、3コースできるという結果が出ている。今後の整備計画の中で検討していく。

問 柴田町生涯教育総合運動場の使用条件などは示しているのか。

スポーツ振興課長 使用のマナーなどの表示はしていない。

問 使用後、整備をしないままとか、車がグラウンド内に進入し轍をつけたままという状況もあると聞いているが、確認しているか。

スポーツ振興課長 確認している。

問 その後の対応はどうしたのか。

スポーツ振興課長 グラウンドトラクターがあるがH型鋼

が引つ張れないようなバワーだったので、それに対応することができなかった。

問 地域の方々が利用するときに、困るようなことではないか。

スポーツ振興課長 使用ルールを作るべきでは、調整会議の中で話し、指導していく。

問 話をするというだけでなく、きちんと表示できないのか。

スポーツ振興課長 表示も検討していく。

スポーツ振興課長 表示も検討していく。

Q 学校図書館司書の全校配置を



白内恵美子 議員

A 全校配置を目指し取り組んでいく



司書の役割が大きい学校図書館（東船岡小学校）

教育長 今年度は日本でも初めて「国際学校図書館協会東京大会」が開催される。全国学校図書館協議会は、今年を「学校図書館年」と定め、学校司書の配置を推進するなど学校図書館の活性化を呼びかけている。柴田町も飛躍の年となるよう提案する。

問 国際学校図書館協会東京大会と、神戸市で開催の全国学校図書館研究会に職員を派遣を。

教育長 大会テーマは「デジタル化時代の学校図書館」

問 学校司書が法制化されたことから、全校配置に取り組むことは。

教育長 第3次柴田町子ども読書活動推進計画には、今後の課題として学校司書の全校配置が盛り込まれている。今年度は5人体制とし、今後は9校全校への配置を目指す

問 取り組んでいく。ふるさと納税の「教育に関する事業」に集まったお金を、司書配置の財源とすることは。

教育長 教育に関する金額は940万5千円となった。教育費全般に充当する。

問 学校図書館の充実、子どもの貧困対策の要である。全庁挙げて早くに取り組むことは。

教育長 貧困対策面での効果が大きいので、できるだけ多くの本に触れる機会を提供していく。



佐々木 守 議員

Q 地方創生加速化
交付金事業の
進捗状況は

A 商店街や太陽の村で
3事業を実施中



船岡城址公園から見る、夜桜と夜景

問 「白石川一目千本桜・花回廊による商店街にぎわい事業」とは。

町長 今年の桜まつりでは商工会がうまいものマルシェという食のイベントを開催したり、町観光物産協会が夜桜ナイトツアーを実施した。今後は商店街の空き物件を再生させるリノベーションスクールの開校、新規事業に参入する起業家を支援・育成し、商店街の活性化を目指すチャレンジシヨップ支援事業を開催する。

問 太陽の村リノベーション「障がい者が営む石窯ピザと牛タンの店開設事業」の進捗は。

町長 現在、社会福祉法人はらから福祉会と店舗の改修内容、厨房設備等について打ち合わせを行っている。今後は、28年12月まで工事を行い、その後職員研修を29年2月まで実施して、3月にオープンする計画で進めている。

問 2020年東京オリンピック・パラリンピック応援サポート人材育成事業の進捗は。

町長 「白石市・柴田町・仙台大学東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会」を設置し、招致に向けて、プロモーション活動を進めている。

問 今後の地方創生推進交付金の活用は。

町長 2事業をステップアップ事業と位置付け、県や国に事前に相談をしている。

問 パークゴルフ場可能性調査の内容及び結果は。

教育長 生涯教育総合運動場に認定コースが可能なかの調査をした。結果はクラブハウスを設置し、3コース27ホールが設置可能との結論。

問 パークゴルフ協会からの意見要望などは、認定コースは全て4コース以上。維持費や採算性を考えても4コース設置を希望。

問 使える補助金や交付金はあるのか。

スポーツ振興課長 スポーツ振興くじ（TOTO）の助成でクラブハウス設置は可能である。

問 健康面から健康推進課や他の課との連携は。

スポーツ振興課長 連携は取っていない。

問 毎年、多くのプレーヤーが町外の施設でプレーしている。町に施設があることで交流人口の増、活性化にもなると思うが。

町長 交流人口の増加やにぎわいの創出など、

効果はあると受け止めている。

問 前に町長は自衛隊に用地造成の協力を得たいとの答弁があったが、話はしたのか。

町長 話した。総合体育館が29年度で着工と方向性が決まれば、自衛隊に実施計画に基づき、役割分担や経費などを相談できる。自衛隊からは「積極的にやらせてもらいたい」との回答を得ている。

Q パークゴルフ場
整備の
可能性調査結果は

A クラブハウス整備と
3コース27ホールの設置が可能



佐々木裕子 議員



町外で開催している町民パークゴルフ大会（あぶくまパークゴルフ場）



安部俊三 議員

Q 避難拠点施設機能の充実した総合体育館の建設を

A 災害弱者にも対応できる施設となるよう検討する



トップアスリートを目指して（仙台大学柔道塾）

（仮）総合体育館の建設に関し、現時点での施設概要に、総合体育館として必須と考えられる武道場が見当たらない。熊本地震の教訓からも、建設のコンセプトで提示されている安心・安全な機能を備えた体育館は、災害時に避難拠点施設となるので、機能の充実を図っておく必要がある。

問 提示されている（仮）総合体育館基本構想での施設概要は、変更の余地は残されているのか。

また、武道場が示されていないが、なぜか。

教育長 現時点では、まだ構想の段階である。本年度に建設予定地を現況調査し、29年度に基本設計を組む流れとなる。基本設計は、町民や関係団体との意見交換を踏まえて進めることとなる。施設の内容や武道場の設置については、検討する余地があると考ええる。

問 災害時、避難所としての武道場は、女性、高齢者、子どもなど災害

弱者に使い勝手がよく、役立つ施設となり得ると思うがいかがか。

教育長 東日本大震災の教訓や、熊本地震の状況を報道などに見るに、災害時における総合体育館の役割が重要であると考える。災害弱者にも対応できる施設となるよう、武道場も含め検討していきたい。



桜場政行 議員

Q 関係各課と連携して未婚者の出会いの場づくりを

A イベントを活用した出会いの場づくりをしていく



入間田地区で開催された出会いの場

問 児童数が少ないため、活発な子ども会活動ができない行政区はあるか。

教育長 単独の子ども会としては、活発な活動を行うことが困難な行政区はある。

問 5年後に児童数が約30人減ると聞いています。本町も少子化に向かっていていると捉えていいか。

教育総務課長 少子化に向かっていると判断している。少子化問題は今や社会問題になってきている。

問 少子化問題は今や社会問題になってきている。

少子化対策として、教育施設整備事業、子育て支援事業、子育てしやすい環境整備を進めている。しかし、いずれも既婚者や生まれた子どもたちが対象の政策ばかりで、独身者の結婚政策は少ない。本町の30代から50代の未婚者数は、

教育長 22年の国勢調査では、男性2千100名、女性1千87名で、合計3千187名。

問 国立社会保障人口問題研究所の出生動向基本調査のデータによる

と、結婚しない理由に、適当な相手にめぐり会えないが高い数値になっている。本町で未婚者の出会いの場を関係各課と連携して取り組めないか。

教育長 地域や民間の取り組みに期待しながら相談を受けるとともに、支援をしていく。また、町のイベントを活用した出会いの場づくりを協議していく。

問 昨年、国の調査で日本の貧困状態にある子どもは6人に1人、16・3割にまで増加している。本町の子どもの様子が懸念される。

町長 本町の子どもの貧困について実態を把握しているか。

町長 国の調査結果は出ていますが、抽出調査であり、県単位や市町村の結果が公表されていない。公的な指標も公開されていないので、現状把握はできていない。

Q 子どもの貧困の実情をつかみ、対策を



広沢 真 議員

A 基礎調査を行い、実態を把握する



地域の人と囲碁を楽しむ(榎木放課後児童クラブ)

問 実態をどのように把握するか。

町長 どのような内容で調査すれば実態を把握できるか未知数なので、まずは基礎調査を行う。

問 町内で子ども食堂に取組む動きは。

町長 町内で子ども食堂に関心を持っている人がいる。

問 町として支援をしないのか。

町長 県が公的支援の可能性調査を行うので、参考にして支援の在り方を検討したい。

問 学習援助の取り組みは。

町長 昨年度から学校の放課後を利用した放課後学習室を開設した。教員経験者、大学生に支援員として協力をもらっている。

問 給付型の奨学金制度を創設する考えは。

町長 現在の奨学金は寄付と償還された金額を原資に運営されていて給付型は困難。将来的には必要性を感じている。

問 農業の振興に、遊休農地の活用と、地元農産物の消費を促進できるサービスができないか伺う。

町長 ふるさと納税の返礼品に、地元産野菜の利用は可能か。

町長 根菜類を中心に利用できないか、今後、農家や直売所を訪問し話し合いを持つ。

問 町内の飲食店などで食材として地元産野菜の利用は可能か。



平間幸弘 議員

Q 地元の農業を支える政策を

A 直売所と地産地消推進協議会との話を進める



遊休農地の利活用を

町長 個別に野菜の引き合いがあるようだが、今後も地元の飲食店と、直売所が利用しやすい仕組み作りを、地産地消推進協議会に働き掛けていく。

問 各飲食店に、地元の生産者の情報が入ったチラシなどが置いてあれば、消費者とつながり、野菜の販売促進になるのでは。

町長 直売所と飲食店の連携、生産者の紹介など、仕組みを地産地消推進協議会の中でしっかりと話し合いを進める。

問 これから農業を拡大したい、または少し大きな家庭菜園を借りたいという人への営農のアドバイスがワンストップで受けることができるように、遊休農地や貸し手の情報を町のホームページに公開してはどうか。

町長 農家の高齢化や後継者の問題もあるが、全国農地ナビのようなインターネットの利用も含めて今後検討する。



水戸義裕 議員

Q 減反廃止と言われるが影響は

A 小規模農家にはデメリット



減反した田んぼ

問 25年に、5年後の30年に減反廃止という報道が流された。町の減反面積、耕作放棄地面積、集団転作の状況は、どうか。

町長 27年度の減反は255.67畝、耕作放棄地は、水田3.79畝、畑65.37畝となっている。転作は1組織と、認定農業者は3人で、麦2.19畝、大豆9.61畝の作付という状況。

問 農水省で出した「現行施策の現状と課題、論点整理を踏まえた中間

取りまとめ案」の中での米政策の一文を、マスコミが減反廃止と報道したものとと言われており、減反廃止とは言っていないことだが、把握しているか。

農政課長 把握している。把柄している。

町長 耕作放棄地の再利用策をどう考えるか。

町長 地方回復に時間が掛かる、借り手がいないなど、対策は容易ではないと考える。

問 本県に耕作放棄地協議会があることは。

農政課長 把握していない。

問 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金で放棄地解消した町もあるが、本町の今後の考えは。

農政課長 確認し、対応できるのであれば積極的に取り上げていきたい。

問 国は、飼料用米栽培を進めるよう、生産コスト低減マニュアルも出しているが。

農政課長 マニュアルの詳細は把握してない。



我妻弘国 議員

Q 原発再稼動が始まった。町長の考えは

A 原発ゼロを目指すのが日本のあるべき姿



槻木中学校に設置された太陽光発電パネル

問 28年3月電源に占める原発割合について全国首長アンケートを実施した結果、電源比率で原発全廃21.0%、低減要求が44.6%、賛成は8.6%となっている。民意は原発事故を想定して、原発電源の低減要求をしている。町長の考えは。

町長 26年9月から11月にかけて、女川議会議員有志が実施したアンケート調査でも、原発再稼動に対する反対意見が

58.7%になっている。万が一、事故が発生した場合、広範囲にわたり甚大な被害を及ぼすことが分かり、住民は安い電気料より、命の方が大切と思う人達が増えてきた結果と思う。震災直後は原発の停止により電力供給不足が問題になった。しかし、国民の節電意識の浸透や省エネ技術の開発などもあり、原発稼働ゼロでも電力不足にはならなかったという事実がある。

日本は世界で唯一の被爆国であり、さらに今回未曾有の原発事故を経験した。そうしたことから国においても、再生可能エネルギーによる発電の割合を増やし、将来は原発に依存しないエネルギー政策に重点を移している。原発ゼロを目指すのが日本のあるべき姿ではないかと思う。

一般質問

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

舟山彰 議員

- 問 今年の桜まつりの入込客数は去年より1,000人増で町長の目標より少ないのでは。
- 答 一番の理由は、気象や天候の変化による影響が大きかったと分析している。
- 問 北船岡町営住宅4号棟は、いつ着工されるのか。
- 答 29・30年度に4・5号棟合わせて49戸建設予定。国の予算の配分次第で変わる。

平間奈緒美 議員

- 問 新規職員採用について、町の魅力や望んでいる職員像などをアピールしてはどうか。
- 答 町の魅力を発信することや学校への働きかけなど、幅広い展開ができるようにしていく。
- 問 第24回全国さくらサミットinしばたを本町で開催できたことの成果は。
- 答 共同宣言の採択。本町の知名度。船岡城址公園と白石川堤の桜の魅力や素晴らしさの認知。

吉田和夫 議員

- 問 アプリを利用してスマホでも広報紙を見られるようにしてはどうか。
- 答 25年7月から民間サービスを活用し、電子書籍化して利用されている。

秋本好則 議員

- 問 自死は交通事故死の6倍。※1ゲートキーパー増員や集団検診時の鬱のチェックで防げないか。
- 答 集団検診は65才以上だが、提案を受けて、全年齢とはいかないが、考えてみる。

白内恵美子 議員

- 問 まちづくりにおける図書館の果たす役割を学ぶため、図書館総合展へ複数職員の派遣を。
- 答 複数職員の派遣はかなわないが、昨年同様に1人の参加を計画している。
- 問 ※2 障害者差別解消法が今年4月に施行された。町の責務をどのように果たすのか。
- 答 法の趣旨の普及を図り、障がいに関する理解促進を図ることが重要であると考えている。
- 問 子どもの貧困が進む中、子ども食堂が全国に広がっている。町も早急を実施すべきでは。
- 答 町直営での設置はしない。県や他市町の動向を見て、可能な支援があるか探っていきたい。

佐々木守 議員

- 問 町選挙管理委員会は今度の参議院選挙で、18歳新選挙権者に対応していくのか
- 答 選挙事務従事者が丁寧な説明に努め、新有権者が投票で困らないような対応をしていく。

桜場政行 議員

- 問 本町の障がい者就労施設に対し、全面的に支援すべきと考えるが。
- 答 町としても、就労の活動範囲を広げようとしている。これからも全面的に支援する。

- ※1 ゲートキーパー
悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る「命の門番」のこと
- ※2 障害者差別解消法
全国民が、障がいの有無によって差別されることなく、共生できる社会の実現を目的とする法律。

本会議出欠状況・議案などの審議結果

●平成28年度柴田町議会6月会議 出欠状況一覧

区分	主な内容	月日	出席者数 △	出欠状況															
				平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	齋藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部俊三	佐々木守	広沢真	有賀光子	水戸義裕	舟山彰	白内恵美子	我妻弘国	高橋たい子
本会議	町政報告、一般質問	6.6	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	6.7	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	6.8	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	条例、補正予算、意見書	6.9	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表します。
※議長は予算審査特別委員にはならない。

●平成28年度柴田町議会6月会議 議案等審議結果一覧

件名	議決月日	賛成者数 △	賛成 △	議決結果	表決状況														
					平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	齋藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部俊三	佐々木守	広沢真	有賀光子	水戸義裕	舟山彰	白内恵美子	我妻弘国
柴田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	6.9	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
柴田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	6.9	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について（情報セキュリティ強化対策機器）	6.9	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度柴田町一般会計補正予算	6.9	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算	6.9	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本政府に核兵器廃絶のための行動を求める意見書（修正案）	6.9	16	4	修正案否決	否	否	○	○	○	否	否	否	否	○	否	否	否	否	
日本政府に核兵器廃絶のための行動を求める意見書（原案）	6.9	16	11	原案可決	○	○	否	否	否	○	○	○	○	否	○	○	○	否	

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表します。
※「議」は表決時に議長のため、また「一」は表決時に議場にいないため表決に参加していないことを表す。

議会からの指摘事項（所管事務調査報告書）

常任委員会レポート

各常任委員会は
各課の仕事を
調査しています。

総務 常任委員会

平成 28 年 5 月 19 日～ 20 日



調査内容

- ①前年度指摘事項に対する措置状況について
- ②各課における事務事業の内容及び執行状況について

調査結果

- 《総務課》職員の年代構成に偏りがあることから採用条件は、民間や他の自治体経験者が応募しやすくなるよう配慮すること。
- 《まちづくり政策課》ホームページは町の顔であることから、常に最新情報を掲載すること。
- 《財政課》公用車に、老朽化している車両がある。安全性を考え、買い換えやリース車への切り換えを検討すること。
- 《財政課》公共施設等総合管理計画は町の将来を左右する重要な計画である。基本方針を明確にして進めること。
- 《槻木事務所》槻木事務所のワンストップサービスは住民にとって利便性が高い。業務内容一覧表を配布するなど、改めて住民への周知を図られたい。

文教厚生 常任委員会

平成 28 年 5 月 12 日～ 13 日

調査内容

- ①前年度指摘事項に対する措置状況について
- ②各課における事務事業の内容及び執行状況について

調査結果

- 《子ども家庭課》放課後児童クラブは、30 年度までに小学 6 年生までの児童を受け入れるため、関係課とさらなる連携を図り、体制を整えること。
- 《教育総務課》各学校から教育委員会に多くの要望がある。特に雨漏りは、早急に調査し改修すること。
- 《福祉課》今後槻木地区に設置予定の「第 2 春風」は、十分な調査をして検討すること。
- 《子ども家庭課》今年度も健康診断の受診率向上を図るため、受診率の高い自治体を参考に取り組むこと。



産業建設 常任委員会

平成 28 年 5 月 10 日～ 11 日



調査内容

- ①前年度指摘事項に対する措置状況について
- ②各課における事務事業の内容及び執行状況について

調査結果

- 《商工観光課》コミュニティプラザは、利用拡大が課題である。今後は無料貸し出しなどで利用の促進を図ること。
- 《商工観光課》仙南一円の自治体とタイアップして、広域的な観光戦略を検討されたい。
- 《都市建設課》船岡駅自由通路の照明などの管理は、適切に行うこと。
- 《都市建設課》既存町営住宅の長寿命化計画による改修事業は、建設年度を考慮して実施されたい。
- 《農政課》遊休農地の保全をさらに進められたい。

について語るう!!

参加者状況			
開催日時		開催会場	参加者数
6月14日(火)	昼の部 10:00～12:00	槻木生涯学習センター	9人
		船岡公民館	7人
		船迫生涯学習センター	6人
	夜の部 19:00～21:00	槻木生涯学習センター	9人
		船岡公民館	5人
		船迫生涯学習センター	7人

質問・意見・要望の件数			
開催会場	質問・意見・要望等の件数		
	テーマ	町政	議会
槻木生涯学習センター	25件	12件	1件
船岡公民館	15件	12件	4件
船迫生涯学習センター	14件	8件	2件
アンケートの自由記述から	0件	4件	4件
計	54件	36件	11件

柴田町議会は、町民の皆様から議会や町政に対する意見・要望などを伺う議会懇談会を開催し、開かれた議会を目指しています。10回目を迎えた今年は、議員17人が3班に分かれ、町内3会場(午前・夜間)で行いました。

今回のテーマは「子育て・子育てについて語るう!!」としました。また、「町政・議会全般」についても参加された皆様から多くの意見や要望をいただきました。

昨年度実施した経過を踏まえ、会場の変更や時間帯を考慮し、子育ての方が参加しやすい平日の午前中開催などを試みました。参加者数は、43人(前年は62人)でした。

第1回柴田町議会議員研修会

最後に絵本の読み聞かせで締めくくっていたできました。

参加者は、町民、職員、他市町議員を含め72人でした。

議員研修会は年2回、議会懇談会テーマの内容に合う研修会を開催して



槻木生涯学習センターにて行われた研修会

伊藤氏は講演では、子育てをする親を元気にすることが、生き生きとした子育てにつながることを話しました。

また、社会や地域で親子への支援をしていくことが支援者同士のつながりになり、地域活性化につながっていくと力説しました。



講演で力説する伊藤誠氏

講演

子どもは地域の宝

親子が元気になる家庭教育・子育て支援を考える

5月18日、学校法人柴田学園たんぽぽ幼稚園・第二たんぽぽ幼稚園園長の伊藤誠氏を講師に迎え、第1回議会議員研修会を開催しました。

伊藤氏は講演では、子育てをする親を元気にすることが、生き生きとした子育てにつながることを話しました。

また、社会や地域で親子への支援をしていくことが支援者同士のつながりになり、地域活性化につながっていくと力説しました。

います。

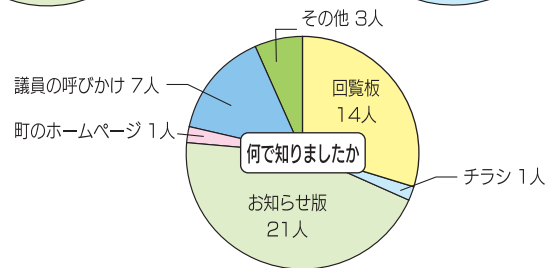
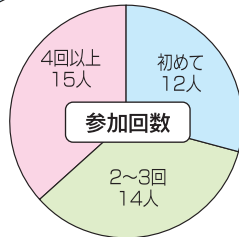
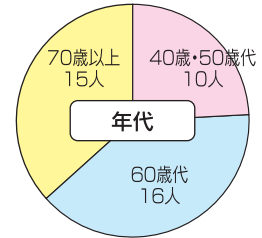
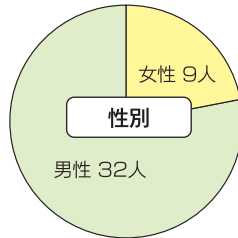
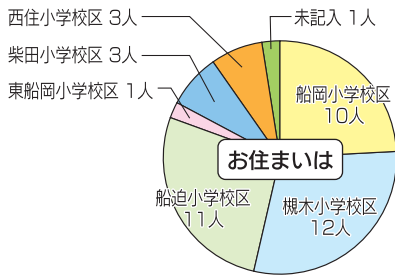
今年6月14日に開催する議会懇談会に向けて、テーマである【子育て・子育て】について事前学習しました。

議会懇談会
6月14日開催

子育て・子育て

アンケート集計結果について

アンケート回収41人(参加者43人)



アンケートでいただいたご意見・ご要望 (抜粋)

【テーマ】

- 町の方針の最大テーマではない
- 悪くはないがテーマが広すぎる
- 間接的に子育てにかかわる男性の意見中心でしたが、皆様方の貴重な意見をうかがうことができ良かった

【開催曜日】

- テーマにあった参加者が少ない
- 参加しやすい土曜日に開催すべき

【時間帯】

- 地域ごとがいい
- 多くの町民の意見を聞くには、もっと人が集まるよう平日の夜に行うべき
- 昼夜2回開催されるので都合の良い時間帯が選べる

【その他】の意見

- 役場庁舎が古く傷んでいて、町民として恥ずかしい
- 葛岡公園に桜を見に行く。公園にトイレを設置してほしい
- 道路の整備がまだまだ不十分なので検討してほしい
- 議場傍聴席が急斜面であり、座りにくい
- 生涯学習・学童保育の場として、船岡公民館の建て替えを考えてほしい
- 議会懇談会に3回ほど参加しているが、参加者が少なすぎる。町民の参加者を増やすことも検討すべき
- 今回のテーマであれば、PTA役員会後の時間を活用することも1つではないか



槻木生涯学習センター



船岡公民館



船迫生涯学習センター

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

議会に多くの課題！

貴重なご意見ありがとうございました。一部掲載します。

子育て・子育てについて

世代間交流

★スポーツ少年団に子どもを入れていたが親には送迎などの負担が大きい。地域の人に送迎してもらえない仕組みを作れないか。

★昔は子どもを祖父母が面倒みていた。地域の高齢者が※ファミリーサポートセンターや船迫子どもセンターで子どもをみられないか。

★地域活動を通して、子育て世代の方が参加できる「親育ち」を進めてほしい。町としての考えは。

★子どもたちをリードしてくれる地域の指導者を町で育成することはできないか。

★見守り隊やボランティアは、熱心な人が多く、地域に恵まれている。今後も続けてほしい。

放課後児童クラブ・児童館

★柴田小学校にも放課後児童クラブを設置してほしい。

★農村環境改善センターを利用し、小規模の児童館を開設できないか。

待機児童問題

★待機児童ゼロを目指してほしい。

★※子育てコンシェルジュのような制度が作れないか。



船岡公民館 午前の部

健康

★待機児童をなくすための工夫として、広域で連携し、他市町の保育所入所の情報を共有し、利用できるようにならないか。

しつけ

★子育てよりも、子を持つ親がしつかりしなければならぬと感じている。子どもは、よく親の背を見て育つと言われるが、子育てをしている親はもう少し、常識のある行動を取ることで、子どもも子育てするのかなと思う。

★社会福祉協議会で、イクメン講座を受け、箸の持ち方、ご飯の食べ方、敬語の使い方などしつけの問題を受講し、それを孫と話し合い触れ合っている。今後、町は子どものしつけをどのように考えて取り組んでいくのか。

議会に関すること

★議会のネット中継はいつごろを予定しているのか。

★テーマの選び方が悪いのでは。総合計画後期基本計画とリンクさせたテーマ設定が必要ではないか。

★議会懇談会開催について、現役世代の若い方たちの参加があればいいと思う。日程に問題があるのではないか。



槻木生涯学習センター 午前の部



船迫生涯学習センター 午前の部

※1 ファミリーサポートセンター
子育てを地域で相互援助するお手伝いをする組織。
※2 子育てコンシェルジュ それぞれのニーズに合った子育て支援サービスについて情報を提供する専門の相談員

議会懇談会

子育て・子育てについて語ろう!!

子育て 町政

町政について

★農村環境改善センターは、現在正職員は不在で代行員をお願いしている。当初の設置目的を再確認し、1、2人の正職員を配置できないか。

★平成27年9月の大雨で第二たんぼ幼稚園裏の私有地で土砂崩れがあった。全額個人負担になるのか。支援があるなら補助率はどうなっているのか。

★昨年9月の関東東北豪雨時に、特別警戒でエリアメールが出されたが解除メールは出されなかったのはなぜか。

★災害時には高校生・中学生が地域で活躍してほしい。災害時に中高生が活躍できる場はあるか。

★病院に入院するための手段がなく、引越しをする人も出てきている。中核病院など地域以外の病院にデマンドタクシーが運行できるような対策を取れないか。

★健康づくりのウォーキングや里山ハイキングなど関連マップなどが課ごとに出ている。記事や標記に違いがあるので、監修し統一性のあるものできないか。

★柴田消防署が老朽化し、建設予定の総合体育館の敷地に移転すると聞いたが、本当か。

★体育館の建設計画が進んでいない。現在、予定地のボーリング調査をしているようだが、結果がだめなら違う土地を探すのか。

★国道4号と旧国道4号白幡付近での分離地点に大量のゴミが捨ててあるが何とかならないか。

★不法投棄対策として、防犯カメラの設置や「ゴミのポイ捨ては罰金」など、常習地帯に看板の設置はできないか。

★白幡地区の剣道西側の側溝は未整備である。雨が降ればあふれるので整備していただきたい。

★結婚している人が減っている。男女の出会いの場を設けられないか。



槻木生涯学習センター 夜間の部

意見・要望への対応

議会懇談会でいただいた多くの貴重なご意見・ご要望は、まず、議会懇談会実行委員会で整理します。

その後、町政に対する事項は、町執行部に回答を求め、議会に対する意見などは、議員全員協議会で内容を確認し、回答することとなります。

調査結果の詳細は、9月中旬まで議会懇談会報告書にまとめ、希望者に配布することや公共施設で閲覧できるようにします。



船迫生涯学習センター 夜間の部



船岡公民館 夜間の部

？ なった

テーマ：しばた千桜橋

常任委員会での指摘事項や、議員が一般質問で行う提言が町にどう反映されているかを「追跡」というテーマで取り上げます。

今回は、今年4月にグランドオープンした「しばた千桜橋」。その提案から完成までを特集します。

連絡橋の提案

(仮称)さくら連絡橋の建設は、平成22年度に、「船岡城址公園の花咲山構想及び白石川堤と船岡城址公園の花回廊構想の策定」の中で提案された。

22年度に国が創設した「社会資本整備総合交付金」を活用し(事業費の2分の1補助)、連絡橋で結ぶ構想が実現することになった。

23年4月からスタートした「第5次柴田町総合計画・前期基本計画」にこのことが位置づけられた。

23年度4月には交付金が内定し、議会

の議決を経て基本設計の委託を行った。その後、都市計画審議会を経て、町民に対する説明を開始した。広報しばたへの掲載(3回)・区長会(3回)・まちづくり住民懇談会での説明(10会場)を行った。議会においては「議員全員協議会」での説明のほか、定例会議において、予算(補正予算を含む)が提案され、全て賛成多数で承認可決されている。

この連絡橋の建設を巡っては、24年12月の定例会において、「(仮称)さくら連絡橋の建設の是非を問う柴田町住民投票条例」の議案が提出されたが、反対多数で住民投票には至らず建設は進められ、28年4月に完成している。



電車を止めての夜間作業(平成26年11月16日、17日)

■事業の推移

平成22年 花咲山構想策定事業で、白石川堤と、船岡城址公園の花回廊構想の策定の取り組みに着手。

白石川堤と船岡城址公園に回遊ルートがあったら良いね



平成23年 3月に社会資本整備総合交付金を国に提出し、4月に内定。当初予算に「基本設計委託料」を計上。23年度策定の「第5次柴田町総合計画(前期計画)」に記載。(※26年度までの計画)

使い勝手の良い交付金できたのね？白石川堤と船岡城址公園を結ぶ、回遊ルートの整備や、連絡橋を造れるかもね



平成23～27年 花咲山構想と、社会資本整備総合交付金を活用した「(仮称)さくら連絡橋建設事業」について、「広報しばた」、「区長会」、「まちづくり懇談会」などで詳しい説明を行う。

町の人みんなに、ちゃんと説明しなきゃね



平成24～26年 平成24年度より(仮称)さくら連絡橋デザインおよび周辺景観整備検討会設置。メンバーは公募による9人で構成され、「橋の形式、デザイン、周辺整備」、「ネーミングの選定」など、26年度まで8回開催された。

どんな橋を作ろうか？みんなで話し合いました



平成24年 (仮称)さくら連絡橋の建設の是非を問う住民投票を求める直接請求があり、議会で議論された。結果、住民投票条例案に賛成6人、反対10人で否決された。(平成24年12月議会)

私たちの意見も確認してね



平成25年 議員の提案もあり、身体の不自由な人や、車いすの利用も考えスロープ(斜路)の取り付けを追加。ただし、現地の状況を考慮し勾配は12‰に決定。

身体の不自由な人にも優しい橋が良いね



27年3月29日
開通式
(プレオープン)



28年4月7日
完成式
(グランドオープン)

「追跡」あれはどう



桜まつりでにぎわう「しばた千桜橋」

当初5億9千万円だった予算は、議員提案によるスロープ工事の追加と、JRへの委託費及び作業単価の変更により、7億8千800万円となった。しかし、国の「地域の元気臨時交付金」が適用され、事業費における町負担割合は50%から37・4%となった。その後、さらに労務単価の変更と復興経費の負担増により8億8千400万円まで膨らんだが、ここでも交付金の増額が認められた。

事業費の 移り変わり

事業費の推移

当初事業費 (平成23年3月)	全体事業費	5億9,000万円	
	負担割合	国の負担(50%)	町の負担(50%)
	財源金額	社会資本総合整備交付金 2億9,500万円	町の借金 2億6,550万円
一般財源：2,950万円			

	23年度当初	28年 3月31日現在
町の借金	2億6,550万円	1億670万円
一般財源	2,950万円	3,086万円
合計	2億9,500万円	1億3,756万円

町の負担額

●単価改定 ●スロープ追加 (平成25年9月)	全体事業費	7億8,800万円 (単価改定分：6,900万円・スロープ追加：1億2,900万円)		
	負担割合	国の負担(62.6%)	町の負担(37.4%)	
	財源金額	社会資本総合整備交付金 3億9,400万円	元気交付金 9,930万円	町の借金 2億6,520万円
一般財源：2,950万円				

●労務費変更 ●復興経費増 (平成27年10月)	全体事業費	8億8,400万円 (労務費増 + 復興経費増：9,600万円)			
	負担割合	国の負担(83.9%)		町の負担(16.1%)	
	財源金額	社会資本総合整備交付金 4億4,200万円	元気交付金 1億4,030万円	交付税措置 1億5,900万円	町の借金 1億1,140万円
一般財源：3,130万円					

事業実績内訳 (平成28年 3月31日現在)	全体事業費	8億7,372万円			
	負担割合	国の負担(84.3%)		町の負担(15.7%)	
	財源金額	社会資本総合整備交付金 4億3,686万円	元気交付金 1億4,030万円	交付税措置 1億5,900万円	町の借金 1億670万円
一般財源：3,086万円					

検証の結果

しばた千桜橋の完成によって、白石川堤と、船岡城址公園の回遊が可能となった。

桜の開花期には橋の上から、白石川堤と、船岡城址公園両方の桜を堪能でき、ウォーキングなど健康づくりの新しいルールにもなった。鉄道ファンにとっても新しい撮影スポットになっている。28年度の桜まつりは、25万2千人の来場者を記録した。

今後、その効果を高めるため、周辺整備を生かした取り組みが求められる。

「しばた千桜橋」橋名の由来

“船岡城址公園の千本の桜”と、“白石川堤一目千本桜”をつなぐという意味と、千年先までいつまでも美しい桜を咲かせてほしいという願いが込められている。

あなたの一言



伊勢 裕介さん
(船岡七作 在住)

●柴田町に住んで感じたことは？

北海道の稚内市の出身です。柴田町は北海道に比べると、冬は積雪も少なく、とても過ごしやすいです。移り住んで9年目になりますが、町の人は非常に温かく、アットホームだと感じています。

●柴田町で好きなところは何？

初めて柴田大橋から見えた一目千本桜の壮観な光景は、今でも目に焼きついています。

「しばた千桜橋」から見る四季折々の風景はとても魅力的です。

●町に何を望みますか？

仙台大学に勤務するものとして、柴田町のスポーツによる活性化を期待します。新体育館建設に関しては、スポーツ都市の拠点となり、子どもから高齢者がスポーツの楽しさ、競

技力向上を追求できる施設となることを期待しております。

●議会だよりを読んでいますか？

新体育館建設に関する情報や、子育て関連の記事を読んでいます。

●議会、議員に望むことは？

スポーツ都市宣言をしている町として、仙台大学があることを最大限活用してほしいと思います。

お母さんが働きやすく、子育てしやすい環境づくりを望みます。

女性に優しいまちづくりを願います。

■議会から一言

仙台大学との連携や新体育館建設について、また、子育て支援にも今後一層留意していきます。

未来へ向けて

表紙について

7月10日、ホテル原田 in さくらにて、リオ五輪柔道女子日本代表、南條充寿監督（仙台大学教授：船岡新栄在住）の壮行会が、柴田町柔道協会などの主催で行われました。笑顔の中に緊張感を伺い知ることができ、また、



和恵夫人の「支える」という姿勢が大変印象深い会でありました。

編集後記

本格的な夏の到来です。みなさん体調はいかがでしょうか。こまめに水分を補給し、この暑い夏を乗り越えましょう。

議会広報常任委員として早くも4年目を迎えました。主に写真を担当し、愛用のカメラを片手に動きまわっています。

できるだけ活字を少なく、視覚にうったえ、わかりやすい紙面づくりを心がけています。引き続き「議会だより」のご愛読をよろしく願います。

議会広報常任委員 吉田 和夫

ぜひ、議会の傍聴を!!

9月会議は

9月5日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は

9月5日(月)・6日(火)・7日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

町ホームページ 本会議審議等結果を掲載 各種会議の出欠状況

町ホームページ内、「柴田町議会」の中の「議会のうごき」に、議員（委員）の出欠状況も掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください

このしばた議会だより153号は、約15,910部作成しています。1部当たりの経費は約31円です。